



アメリカン航空 会社概要

アメリカン航空は、子会社の地域航空会社、アメリカン・イーグル、アメリカン・コネクションの便を合わせると、40 余りの国と地域の 250 以上の都市へ 1 日 3,400 便以上を運航しており、その 3 社が所有する航空機は 900 機にのぼる。

アメリカン航空は、北米、カリブ海地域、中南米、ヨーロッパ、太平洋全域の主要都市に、ジェット定期旅客便を運航。日本からは、成田からダラス・フォートワース（テキサス州）、シカゴ、ニューヨーク、ロサンゼルスへノンストップ便を運航している。

1982 年、株主による企業再編案の承認により、持株会社 AMR コーポレーションが設立され、アメリカン航空の親会社となる。アメリカン航空は AMR コーポレーションの中核企業に位置づけられている。

アメリカン航空は航空会社アライアンス **oneworld®**（ワンワールド）の創設メンバー5 社のうちの 1 社である。

<本社>

正式社名： アメリカン航空株式会社（American Airlines, Inc.）
住所： 4333 Amon Carter Boulevard, Fort Worth, TX 76155
代表者： ジェラルド・アーपीー (Gerard J. Arpey)
(AMR コーポレーション社長、CEO、会長を兼務)
創業： 1926 年 4 月

報道関係者の本社問い合わせ先： 広報部 (Corporate Communication)
(国番号) 1-817-967-1577

<本社沿革>

1926 年 4 月 15 日 当時、全米第2位の郵便物輸送会社だったロバートソン・エアクラフト・コーポレーション(ミズーリ州)で、チーフ・パイロットを務めていたチャールズ・A・リンドバーク (Charles A. Lindbergh)らが、DH-4 複葉機でのシカゴーセントルイス間の郵便物輸送飛行を行う。これが後に、アメリカン航空となる航空会社の最初の定期便とされている

1929 年 ロバートソン・エアクラフト・コーポレーションを含む企業の統合により、アビエーション・コーポレーションが設立

1930 年 アビエーション・コーポレーションの航空部門が、アメリカン・エアウェイズに統合

1934 年 アメリカン・エアウェイズがアメリカン航空へ

1959 年 1 月 25 日 ボーイング 707 型機で、初のアメリカ東西横断便を開始

1964年 ボーイング 727 型機を投入

1966年 ボーイング 747 型機を投入

1974年 自動チェックイン・サービスを開始

1977年 ディスカウントチケット「Super Saver」の発売開始

- 1979年 本社をニューヨーク市からテキサス州ダラス・フォートワースへ移転
- 1981年 フリークエント・フライヤー・プログラム「AAdvantage」の開始
- 1982年 AMR コーポレーション社が親会社となる
- 1981年6月 ハブ空港としてダラス・フォートワース国際空港を開設
- 1990年 ダラス・フォートワース国際空港の拡張工事開始
最新設備を備えたシステム・オペレーション・コントロール・センター (SOC) を開設
- 1994年4月 カナディアン航空(カナダ)とサービス提携を締結
- 1995年 ドナルド・J・カーティ (Donald J. Carty) が社長に就任
- 同年 グローバル向けにウェブサイトを開設
- 1998年5月20日 ドナルド・J・カーティが AMR コーポレーション社およびアメリカン航空の会長兼 CEO に就任
- 1998年 すべてのアメリカン航空機に除細動器を設置
- 1998年9月21日 他の4航空会社と、航空会社アライアンス **oneworld®**(ワンワールド) 協定の締結を発表
- 1999年2月1日 **oneworld®**協定の開始
- 2001年4月 TWA を買収
- 2001年4月 ダラス・フォートワース国際空港に会員制ラウンジ「アドミラルズクラブ」および特設ラウンジをオープン
- 2002年4月 ボーイング 777 型機による成田-JFK(ニューヨーク)間のデAILY・ノンストップ便の運航を開始
- 2003年4月24日 エドワード・ブレナン(Edward A. Brennan)が AMR コーポレーションのエグゼクティブ・チェアマンに、ジェラルド・アーピー(Gerard J. Arpey)が AMR コーポレーションの CEO 兼社長に就任
- 2004年 ジェラルド・アーピーが AMR コーポレーションの会長に就任(社長と CEO、会長を兼務)
- 2008年11月20日 ジェラルド・アーピーが **oneworld®**取締役会の会長に就任

<アメリカン航空 事業規模>

アメリカン航空	アメリカン・イーグル
従業員数: 全世界で 76,863 名	従業員数: 全世界で 12,817 名
輸送乗客数: 92,080,000 人(2008年実績)	輸送乗客数: 19,100,000 人(2008年実績)

(2009年5月現在)

<oneworld®加盟航空会社>

American Airlines / British Airways / Cathy Pacific / Finnair / Iberia / Japan Airlines / Lan / Malev / Mexicana / Qantas / Royal Jordanian

<アメリカン航空日本支社>

アメリカン航空 アジア・パシフィック社長： テオ・パナジオトウリアス(Theo Panagiotoulis)

住 所： 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 7 階

TEL(予約)： 03-5767-6006

TEL(広報)： 03-5427-7382(ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド)

社 員 数： 111 名

(2009 年 12 月現在。クルーメンバーおよび米国での社員は除く)

ウェブサイト： AA.com

<日本支社沿革>

- | | |
|-------------|--|
| 1967 年 7 月 | アメリカン航空日本支社設立 |
| 1987 年 5 月 | 初の太平洋路線として成田—ダラス・フォートワース路線の運航を開始 |
| 1991 年 3 月 | 成田—サンノゼ路線の運航を開始 |
| 10 月 | 成田—シアトル路線の運航を開始 |
| 1998 年 2 月 | 成田空港に会員制ラウンジ「アドミラルズクラブ (Admirals Club)」を開設 |
| 5 月 | 成田—シカゴ路線の運航を開始 |
| 12 月 | 関空—ダラス・フォートワース路線の運航を開始 |
| 2000 年 9 月 | 日本に乗り入れる全ての機体をボーイング 777 型機に統一 |
| 2002 年 1 月 | 成田—シアトル路線および関空—ダラス・フォートワース路線の運航停止 |
| 4 月 | 成田—ニューヨーク路線の運航を開始 |
| 6 月 | 成田—ダラス・フォートワース路線週 4 便を増便し 11 便に |
| 2003 年 6 月 | 成田—ダラス・フォートワース路線を週 12 便に増便 |
| 2004 年 4 月 | 成田—ロサンゼルス路線の運航を開始 |
| 12 月 | 成田—ダラス・フォートワース路線を週 13 便に増便 |
| 2005 年 4 月 | 名古屋—シカゴ路線が就航 |
| 5 月 | 成田—ダラス・フォートワース路線を週 14 便に増便 |
| 11 月 | 名古屋—シカゴ路線の運航停止 |
| 11 月 | 関空—ダラス・フォートワース路線の運航再開 |
| 2006 年 10 月 | 成田—サンノゼ路線の運航を停止
関空—ダラス・フォートワース路線の運航を停止 |
| 2007 年 1 月 | 成田空港第 2 ターミナルへ移転
会員制ラウンジ「アドミラルズクラブ」を新設 |

<アドミラルズクラブ (Admirals Club)>

- ・ 1939 年、業界初の会員制 VIP ラウンジとしてニューヨークのラガーディア空港に開設される。
- ・ 日本では、ターミナル移転に伴い 2007 年 1 月、成田国際空港第 2 旅客ターミナルに新設
- ・ パソコン、プリント設備、無線 LAN アクセスなど、最新の設備を導入
- ・ ラウンジ内の多機能ビジネスセンターおよびサイバーカフェには、レノボ社製コンピュータを 16 台配備
- ・ フラットパネル TV を装備した会議室、ラウンジ内に 2 台の大型フラットパネル TV、スパを連想させるシャワー施設などを設置

<フライトスケジュールー太平洋線>

◆ 日本発

(2009年11月1日～2010年1月4日)

便名	出発時間	出発地	到着時間	到着地	フライト時間
AA176	13:00	東京(NRT)	09:10	ダラス/フォートワース(DFW)	11時間10分
AA60	19:00	東京(NRT)	15:25	ダラス/フォートワース(DFW)	11時間25分
AA154	19:05	東京(NRT)	15:35	シカゴ・オヘア(ORD)	11時間30分
AA168	19:25	東京(NRT)	18:15	ニューヨーク (JFK)	12時間50分
AA170	16:50	東京(NRT)	9:30	ロサンゼルス(LAX)	9時間40分

(2010年1月5日～2010年3月13日)

便名	出発時間	出発地	到着時間	到着地	フライト時間
AA176	13:00	東京(NRT)	09:20	ダラス/フォートワース(DFW)	11時間20分
AA60	19:05	東京(NRT)	15:35	ダラス/フォートワース(DFW)	11時間30分
AA154	19:00	東京(NRT)	15:50	シカゴ・オヘア(ORD)	11時間50分
AA168	19:25	東京(NRT)	18:20	ニューヨーク (JFK)	12時間55分
AA170	16:50	東京(NRT)	09:35	ロサンゼルス(LAX)	9時間45分

◆ 日本着

(2009年11月1日～2010年1月4日米国発)

便名	出発時間	出発地	到着時間	到着地	フライト時間
AA175	10:10	ダラス/フォートワース(DFW)	14:40 (翌日)	東京(NRT)	13時間30分
AA61	12:05	ダラス/フォートワース(DFW)	16:35 (翌日)	東京(NRT)	13時間30分
AA153	11:05	シカゴ・オヘア(ORD)	15:15 (翌日)	東京(NRT)	13時間10分
AA167	11:30	ニューヨーク (JFK)	15:40 (翌日)	東京(NRT)	14時間10分
AA169	11:40	ロサンゼルス(LAX)	16:40 (翌日)	東京(NRT)	12時間00分

(2010年1月5日～2010年3月13日米国発)

便名	出発時間	出発地	到着時間	到着地	フライト時間
AA175	10:10	ダラス/フォートワース(DFW)	14:35 (翌日)	東京(NRT)	13時間25分
AA61	12:05	ダラス/フォートワース(DFW)	16:35 (翌日)	東京(NRT)	13時間30分
AA153	11:05	シカゴ・オヘア(ORD)	15:15 (翌日)	東京(NRT)	13時間10分
AA167	11:30	ニューヨーク (JFK)	15:35 (翌日)	東京(NRT)	14時間05分
AA169	11:50	ロサンゼルス(LAX)	16:40 (翌日)	東京(NRT)	11時間50分

※ スケジュールは事前の予告なしに変更される場合がありますので、ご出発前に必ず最新のスケジュールをご確認ください。

(2009年12月)